

令和6年度 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

地域再生計画：「廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業」

事業担当課	観光課
-------	-----

地域再生計画における事業への位置づけ	寄附活用事業名	事業費 (円)	寄付受入額 (円)	事業期間
ア はつかいちの「産業」はニュースにあふれている！！ ～そこ！に着目するはつかいち～に資する事業	モン・サン＝ミッシェル市 観光友好都市提携 15周年記念事業	20,413,510	20,000,000	令和6年3月7日～ 令和7年3月31日

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> ・モン・サン＝ミッシェルから訪問団を招聘し、記念式典・レセプション等の実施 ・宮島等での展示会 ・記念コンサートの開催 ・食のイベントプロモーション ・モン・サン＝ミッシェルがあるノルマンディー地方と廿日市市でのクラス間交流（小学生対象） ・フランスでのイベント実施（食、けん玉）

重要業績評価指数（KPI）			
指標	基準値 (R1)	実績値 (R4時点)	目標値 (R7)
市内総生産額	3,539億円	3,836億円	4,000億円

事業の評価	今後の方針
観光姉妹都市15周年を迎え、従来の観光分野だけでなく、文化及び経済交流を含め新たに調印を行い、 <ul style="list-style-type: none"> ・記念コンサートや展示会の実施による認知度向上 ・食のイベントによる新たなメニューの開発や事業者間交流（販路拡大）の促進 ・フランスでのイベント実施によるインバウンド誘客の促進 などにつながった。	観光友好都市提携20周年（令和11年）に向け、両市によるプロモーションを推進し、更なる誘客を図る。 また、事業者間交流（フランス×廿日市市、市内各地域同士）を推進し、食やお土産などを中心とした販売促進を図る。

令和6年度 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

地域再生計画：「廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業」

事業担当課	アジアトライアスロン推進室
-------	---------------

地域再生計画における事業への位置づけ	寄附活用事業名	事業費 (円)	寄付受入額 (円)	事業期間
イ 住みたくなる！ちょうどいいまち～そこ！そこ！！のはつかいち～意外と知らない、魅力いっぱいのにまちに資する事業	アジアトライアスロン選手権開催事業	120,987,466	25,000,000	令和5年7月～ 令和6年4月

事業概要
<p>「はつかいちを アジアの架け橋に」を大会テーマに「アジアトライアスロン選手権2024/廿日市」を「パリ2024オリンピック競技大会アジア大陸選考対象大会」として2024年4月20～21日に廿日市市で開催した。</p> <p>アジア9カ国から65人のエリート選手が市内特設コースでトップクラスの競技を繰り広げた他、オリンピック予選と同じコースで、一般選手185人が参加して競技を実施した。</p> <p>本市での「アジアトライアスロン選手権」は2016年、2021年に引き続き3回目の開催となる。今回はインターネットのライブ中継も実施し、アジア各国に廿日市市での開催をPRすることとなった。</p> <p>本事業では多数のボランティアが大会を支えており「アジアトライアスロン選手権」というスポーツの国際大会の実施により、本市のスポーツ推進計画にある「する」「みる」「ささえる」スポーツの姿を具現化し、本市が掲げる「スポーツを核としたまちづくり」の一翼を担っている。</p>

重要業績評価指数 (KPI)			
指標	基準値 (R1)	実績値 (R6時点)	目標値 (R7)
人口の社会動態 (転入-転出)	転入超過 (213人)	転入超過 (126人)	転入超過

事業の評価	今後の方針
<p>大会経費約1.21億円のうち、2500万円を企業版ふるさと納税による寄附を充当することにより、市の財政負担を軽減することが可能となった。</p> <p>大会開催により、本市の知名度向上、観光振興、スポーツの振興、シビックプライドの向上、青少年育成、市民力の向上など、多方面にわたる効果を得ることができた。</p>	<p>「アジアトライアスロン選手権」をオリンピックのアジア予選として開催する件については、競技団体である「日本トライアスロン連合 (JTU)」の意向によるところであり、次回開催については未定である。</p> <p>本大会の実施により、本市には大会開催の経験値が蓄積されてきており、今後も多数の市民が競技を支え一体感を醸成する大会の開催につながることを期待できる。</p>